

原稿内容確認書

広告内容をご確認いただき、ご返送くださいますようお願い致します。番号間違いにご注意ください。

株式会社タウンニュース社  
鶴見区編集室

濱田 貴也

Tel 045-227-5050 Fax 045-227-5051

鈴木秀志 御中

掲載日	掲載版	面	サイズ
2017/06/15	鶴見区版	外面	10.2cm×5 段



**モットーは「まかせて安心! いち守る!鈴木ひでし」。**  
第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、環境農政常任委員会、安全安心推進特別委員会に所属  
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

## 県政報告 ひでしの 「実績で勝負」<sup>②</sup>

# 「施設児童の就労支援検討会」を実現

### 公明党 鈴木ひでし

「まかせて安心、いち守る鈴木ひでし」をモットーに活動を続けております。今回は、平成28年第2回定例会で私が提言した、「就職を希望する児童養護施設退所者と、理解ある事業主を結ぶ支援の取組」が、県主導で実現することになりましたので報告いたします。

「約7割が高校を卒業し、約7割が就職希望」と同時に施設を退所し、親からひどい虐待を受けた子どもたちは、家族に頼ることが難しく、大企業優位の就職活動となっていることや、住み込みで働ける企業は就労環境や離職率の高さなどから、定着しづらいと聞いています。ですが一方で、私が知っている事業主の中には、退所者を理解し、受け入れての低さなどから、就職しても職場で人間関係がうまく築けずに、辞めてしまうこともあります。

さらに、退所者の事情と企業の希望のミスマッチもあります。求人票だけを見て、会社見学、面接を経て受かったら断れないという企業優位の就職活動となっていることや、住み込みで働ける企業は就労環境や離職率の高さなどから、定着しづらいと聞いています。ですが一方で、私が知っている事業主の中には、退所者を理解し、受け入れてくれる方もいます。こうした背景の中、様々な課題を抱えた子どもが、自分ひとりの力で生活しなければならぬという現実に対し、行政の支援が十分ではないと感じていました。

### 支援スタート

県は平成29年1月、「施設退所児童のための就労支援検討会」を設置しました。これは、退所児童が地域社会で自立して生活を送っていくためサポートをしている団体と、ハローワークを統括する国の労働局をつなぎ、就労支援体制を構築するためのものです。すでに各団体と連携し、情報交換や就労支援対策の検討を開始しました。検討会では、施設退所児童の特徴や、配慮すべき点などについて、事業主へ理解してもらうための取組や、子どもを理解して安定して受け入れてくれる事業主の募集、施設退所児童とのマッチングのあり方などを検討しています。

私も、支援団体の視察や支援企業との意見交換などを行いながら、県の対策を注視してまいります。



検討会であいさつ

Web 掲載項目▶

鈴木秀志  
 横浜市鶴見区豊岡町1 4-2 7  
 045-580-2830 FAX:045-580-2831  
<http://www.hideshi-suzuki.com/index.html>

店名・電話番号・営業時間等は必ずご確認ください。該当欄にチェックを入れ、ご署名の上期日までにご返送ください

- 訂正なし。印刷作業を進めて下さい
- 訂正有り。タウンニュース社で修正して印刷作業を進めて下さい
- 訂正有り。確認のため修正した原稿をもう一度送信して下さい

お客様  
サイン

平成 年 月 日

●限られた日程の中で編集作業を進めておりますので、校正は原則的に2回までとさせていただきます。3回目以降の校正は有料になる場合がございます。●締切り日時までに掲載内容が確定しない場合、指定された発行日の紙面に掲載できませんので、指定期日までに必ずご返送くださいますようお願い申し上げます。●印刷作業に入りますと内容の変更や訂正ができませんので、入念なチェックをお願い致します。

弊社確認欄	出稿元	校了	責了点	A000671158-1
	編集担当者	入稿済	濱田 貴也	2017/06/12 14:16
	製作担当者	製作 (1)	水野 珠穂	2017/06/12 14:40